

[要点]

- (1) 第一次世界大戦後の不景気に、関東大震災の影響が加わり、金融恐慌もおこっていた日本に追い打ちをかけたのは世界恐慌であった。都市では労働争議が、農村では小作争議がおこった。
- (2) 中国では、蒋介石の国民党が中国統一を目指していた。これに対して、日本軍は軍閥の張作霖を爆殺し、さらに1931年、南満州鉄道を爆破して満州事変をおこし、満州を占領した。
- (3) 1932年に満州国を成立させたが、中国の訴えによって国際連盟はリットン調査団を派遣し、日本の引き上げを勧告した。これを不服とした日本は、1933年、国際連盟を脱退した。
- (4) 1932年に、政党内閣に不満を持った一部の青年将校らによって五・一五事件がおこされ、犬養毅首相が暗殺された。これによって8年続いた政党政治は終わりをつけた。
- (5) さらに、1936年、二・二六事件がおこり、有力な政治家、軍人が暗殺された。

[A問題：要点確認]

- (1) 第一次世界大戦後の不景気に、関東大震災の影響が加わり、金融恐慌もおこっていた日本に追い打ちをかけたのは()恐慌であった。都市では労働争議が、農村では()争議がおこった。
- (2) 第一次世界大戦後の不景気に、()の影響が加わり、金融恐慌もおこっていた日本に追い打ちをかけたのは世界恐慌であった。都市では()争議が、農村では小作争議がおこった。
- (3) 中国では、()の国民党が中国統一を目指していた。これに対して、日本軍は軍閥の張作霖を爆殺し、さらに()年、南満州鉄道を爆破して満州事変をおこし、満州を占領した。
- (4) 中国では、蒋介石の()党が中国統一を目指していた。これに対して、日本軍は軍閥の()を爆殺し、さらに1931年、南満州鉄道を爆破して()をおこし、満州を占領した。
- (5) 1932年に満州国を成立させたが、中国の訴えによって国際連盟は()調査団を派遣し、日本の引き上げを勧告した。これを不服とした日本は、1933年、国際連盟を()した。
- (6) 1932年に()国を成立させたが、中国の訴えによって国際連盟はリットン調査団を派遣し、日本の引き上げを勧告した。これを不服とした日本は、1933年、国際連盟を脱退した。
- (7) 1932年に、政党内閣に不満を持った一部の青年将校らによって()事件がおこされ、犬養毅首相が暗殺された。これによって8年続いた()政治は終わりをつけた。
- (8) さらに、1936年、()事件がおこり、有力な政治家、軍人が暗殺された。

[B問題]

- (1) 中国の国民政府の指導者は誰か。
- (2) 日本軍は(A)を爆破し、これを中国軍のしわざだとして攻撃し、満州を占領した。この事件を(B)という。
- (3) 満州事変がおこったのは何年か。
- (4) 満州事変ののち、日本が溥儀を皇帝にしてつくった国は何というか。
- (5) 満州事変に対して国際連盟は何という調査団をおくったか。
- (6) 5・15事件がおこったのは何年か。
- (7) 5・15事件で暗殺された首相は誰か。
- (8) 5・15事件の歴史的意義は何か。
- (9) 1936年、青年将校が反乱をおこして有力な政治家、軍人を暗殺する事件をおこしたが、これを何というか。
- (10) 2・26事件がおこったのは何年か。

[解答] (1) 蒋介石 (2) A 南満州鉄道 B 満州事変 (3) 1931年 (4) 満州国 (5) リットン調査団 (6) 1932年 (7) 犬養毅 (8) 政党政治が終わったこと (9) 2・26事件 (10) 1936年

[C問題]

- (1) 恐慌のころの財閥の動きはどのようであったか。
- (2) 国民政府の蒋介石は(A)を弾圧し、有力な(B)をおさえて国内の統一をすすめた。
- (3) 蒋介石の中国統一の動きを阻止しようとして、日本軍は中国のどこに出兵したか。
- (4) 1931年、日本軍が()の郊外で鉄道を爆破し、満州事変が始まった。
- (5) 日本によって満州国の皇帝に祭り上げられたのは、中国の何という王朝の元皇帝であったか。
- (6) 満州国の建国は何年か。
- (7) 政党政治が終わったのは何という事件によってか。
- (8) 5・15事件、2・26事件の結果政治の上で勢力を強めたのは何か。

[解答] (1) 会社や銀行を合併して産業界を支配した。 (2) A 共産党 B 軍閥 (3) 山東省 (4) 奉天 (5) 清朝 (6) 1932年 (7) 5・15事件 (8) 軍部